

犬山市部活動地域移行 News No.6

【報告】第2回 部活動指導員・外部指導者説明会 協議内容について

1月21日に開催された第2回部活動指導員・外部指導者説明会では、12月までの休日合同クラブの実施状況と課題を報告し合い、次年度の継続の意向について確認しました。その一部をお伝えします。（犬山市HPに掲載中）

【質疑応答】

Q: 休日合同クラブでの指導者が誰もいなくなったらどうなるのか？

A: 種目の活動ができなくなるため、休日の活動については、個人での対応となります。継続したい場合は、民間のスポーツクラブや市外のクラブに参加することになります。

Q: 会場校が遠く、練習に参加できないという声がある。会場校を各中学校でローテーションにしてもらえれば、参加生徒も増えると思うがどうか？

A: 会場校を複数設けると鍵の受け渡しなど施設の管理が煩雑になることから、会場となる拠点校を固定して実施していく予定です。

Q: 卓球は指導者1人につき生徒3名程度を指導している。個人競技のため指導者が増えなければ指導が難しい。また、ボールの消耗が激しいため、別途購入するなど負担がかかる。道具の調達について何か方法はないのか？

A: 指導員の確保には努力します。道具については各校で持ち寄るなど工夫してほしいと伝えています。

Q: 地域移行後は、各クラブチームが各種目の協会や連盟に登録するのか？

A: はい。クラブチームで登録することになります。



Q: 今まで練習試合を学校の先生同士の繋がりで行っていたが、今後、練習試合をどう申し込めばいいのかわからない。他市と練習試合ができるような体制・仕組みがあるとよい。大会については参加費用が必要な大会もあるため、費用についてはどうしていけばいいのか？

A: 教員にも協力してもらいながら、指導者の不安がないよう進めていきたいと考えております。現在の合同クラブはあくまで個人のスキルアップを目的としているため、合同クラブとして大会の費用負担については想定していません。地域移行後は、参加者から会費を徴収する形になると想定しています。

【部活動指導員・外部指導者の意見】

【軟式野球】

実施状況は3中学校で生徒30名が参加している。自分としては技術面よりもその子の良い点を見つけてあげたいとの思いから指導している。合同クラブや、地域移行後に勝敗にこだわりすぎると子どもによくないのではと感じている。

【バスケットボール】

合同クラブ開始後、実際に行うことができたのは2回。生徒数が多いため、合同で実施しても学校ごとでの活動になる。生徒からも、なぜわざわざ遠い学校で活動しなければいけないのかといった声がある。今後は3校合同で実施すると聞いているが、合同で活動する意味が感じられない。

【ハンドボール】

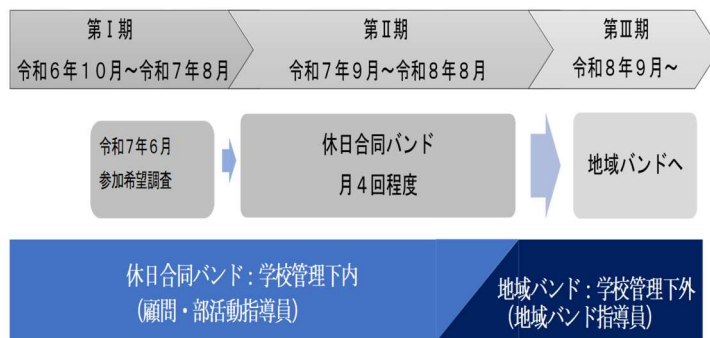
参加人数が少ないため、今後クラブとして続けていけるかは心配している。現在10人前後（各校の半数程度）が参加していると聞いているが、指導者も参加者も不足しているので、地域移行後は活動が継続できるのか不安だ。

1/22 中学校入学説明会 部活動地域移行について説明しました

市内4中学校で行われた入学説明会で、令和7年度以降の部活動地域移行の流れを、保護者対象にお話ししました。特に、令和7年9月から、運動部のみならず、吹奏楽部も「休日合同バンド」へ移行することもお話ししました。令和7年度のコンクールは、学校単位で参加しますが、令和8年度は、休日合同バンド単位で参加します。そのため、令和7年9月から休日合同バンドで練習を行います。

- ・ 休日合同バンドへの参加は任意です。
- ・ 令和7年6月に、休日合同バンドへの参加希望調査を実施します。
- ・ 活動場所は市内の中学校とします。会場校は、参加人数の集約後にお知らせします。
- ・ 平日の自校での部活動は、主に個人のスキルアップの場となります。
- ・ 休日合同バンドでのマーチングは実施しません。

1 吹奏楽部の地域移行の流れ



【今後の予定】

- 2月 令和7年度 休日合同クラブ参加意向調査（中1・2年生・保護者対象）
犬山市スポーツ協会競技団体へのアンケート（実態調査）
部活動顧問からのヒアリング調査
部活動地域移行検討委員会

